

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、(※)次期仙台市ひとり親家庭等自立促進計画(計画期間:2020年度~2024年度)の策定にあたり、本市における母子世帯及び父子世帯(以下「ひとり親世帯」という。)の生活実態やサービスに対するニーズ等を把握するとともに、今後の本市におけるひとり親世帯に対する福祉施策推進のための基礎資料を得ることを目的に、「アンケート調査」及び「支援者ヒアリング調査」を実施した。

※ 現行計画の期間:2015年度~2019年度(5年間)

次期計画の期間:2020年度~2024年度(5年間)

※ 根拠法令:「母子及び父子並びに寡婦福祉法」(昭和39年法律第129号)第十二条

「母子家庭等及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本的な方針」

(厚生労働省告示第四百十七号)

## 2. アンケート調査

### (1) 調査対象等

- |         |   |
|---------|---|
| ① 調査対象者 | 2018年9月1日現在の住民基本台帳の中から、20歳未満の子どもがいて、配偶者のない世帯より抽出した2,300世帯(*)<br>(*) 母子世帯:1,300件、父子世帯:1,000件 |
| ② 調査方法  | 調査対象世帯に対して、郵送にて調査票を配布。記入済みの調査票(調査対象世帯に該当しない場合もその旨を回答)を同封の返信用封筒にて返送。                         |
| ③ 調査基準日 | 2018年9月1日   |
| ④ 調査期間  | 2018年10月18日(木)から2018年11月9日(金)まで<br>※2019年1月24日までの回収票を集計に含む                                  |

### (2) 調査項目

- ① 調査対象者の属性
- ② 就労の状況について
- ③ 収入の状況について
- ④ 養育費の状況について
- ⑤ 子どもと別れた父・母の面会交流の状況について
- ⑥ 子どもの状況について
- ⑦ 公的制度等の情報の入手方法、利用状況等について
- ⑧ ひとり親家庭となった当時の状況等について
- ⑨ 現在の生活の状況について
- ⑩ 希望する福祉制度や意見・要望について
- ⑪ 自由意見

### (3) 調査票の回収状況等

	標本数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (C) B/A
ひとり親世帯	2,300 件	652 件	28.3%

有効回収数の 652 件のうち、母子家庭の方から 377 件、父子家庭の方から 209 件の回答があり、母子・父子家庭不明が 66 件であった。

### (4) 調査対象世帯の定義

調査対象世帯とは、調査基準日において配偶者のない方と、その方に扶養されている 20 歳未満の子どもからなる家庭とした。「配偶者のない」とは次のとおりである。

なお、「配偶者」には、婚姻の届出はしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。

- ① 死別、離婚、未婚の父母など、現に配偶者のないもの
- ② 配偶者の生死が不明であるもの
- ③ 配偶者の家出、蒸発等で、配偶者に遺棄されているもの
- ④ 配偶者が精神上、身体上の障害により、1 年以上労働能力を失っているもの
- ⑤ 配偶者が法令により 1 年以上拘禁されているため、その扶養を受けることができないもの

### (5) 調査結果の見方

- ・調査数 (n=number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・特に注記のない統計数字及びグラフは本調査による。
- ・前回調査とは平成 25 年 (2013 年) 12 月実施の「仙台市ひとり親家庭生活実態調査」を指す。

#### 【本調査における貧困線の算出について】

- ・国から示された世帯人数と可処分所得 (手取り収入) による区分を基に、貧困線を下回る層の「貧困線未満の世帯」と、貧困線を上回る層の「貧困線以上の世帯」を抽出し、分析に用いている。

なお、世帯人数と可処分所得の回答結果のみで区分していることから、当該区分が必ずしも各世帯の実際の経済状況等を示すものではない。

## 【貧困線（可処分所得）の設定について】

世帯人数	国の貧困線基準	本調査における貧困線基準	
		貧困線未満の世帯	貧困線以上の世帯
1人世帯	1 2 2 万円	1 2 2 万円未満	1 2 2 万円以上
2人世帯	1 7 3 万円	1 7 3 万円未満	1 7 3 万円以上
3人世帯	2 1 1 万円	2 1 1 万円未満	2 1 1 万円以上
4人世帯	2 4 4 万円	2 4 4 万円未満	2 4 4 万円以上
5人世帯	2 7 3 万円	2 7 3 万円未満	2 7 3 万円以上
6人世帯	2 9 9 万円	2 9 9 万円未満	2 9 9 万円以上
7人世帯	3 2 3 万円	3 2 3 万円未満	3 2 3 万円以上
8人世帯	3 4 5 万円	3 4 5 万円未満	3 4 5 万円以上
9人以上世帯	3 6 6 万円	3 6 6 万円未満	3 6 6 万円以上

※本調査の回答者（有効回収数）652 件のうち、算出の基準となる世帯人数と可処分所得の両設問の回答者 437 件の調査結果より分析

## 3. 支援者ヒアリング調査

## (1) 調査対象等

本市におけるひとり親世帯の生活実態や様子を把握することを目的に、家庭や子どもへの支援に関わっている9の団体等に対してヒアリング調査を実施した。

対象者名	ヒアリング実施日
弁護士	2018年10月31日（水）
仙台市社会事業協会	2018年11月2日（金）
せんだいこども食堂	2018年11月5日（月）
あしなが育英会	2018年11月6日（火）
宮城県福祉事業協会	2018年11月5日（月）
みやぎ生活協同組合	2018年11月9日（金）
子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ	2018年11月12日（月）
特定非営利活動法人アスイク	2018年11月27日（火）
仙台市子育てふれあいプラザ宮城野（のびすく宮城野）・原町児童館	2018年12月18日（火）

## (2) 調査項目

聴取内容について、以下のとおり整理した。

## ①支援世帯の特徴・課題等

- ・属性・背景等
- ・生活習慣や日常生活の様子
- ・支援制度・支援者との関係

## ②制度・連携の仕方等に関する課題等

- ・実施している支援制度等のあり方
- ・継続的な支援のあり方
- ・連携による支援のあり方

## ③仙台市に希望する支援策